



一般社団法人 香川県臨床検査技師会 発行者：高 橋 宗 孝

第42回 香川県医学検査学会のご案内

会期：平成30年4月22日（日）9:00～15:40（受付 8:30から）

会場：香川県立保健医療大学 講義棟3階 大講義室

香川県高松市牟礼町原281番地1 TEL 087-870-1212

テーマ：「呼吸器疾患へのアプローチ」

<教育講演>

『呼吸器疾患へのアプローチ』

森 由弘 先生（KKR 高松病院 副院長 呼吸器内科）

<シンポジウム>

『呼吸器疾患へのアプローチ』

生理検査部門 『スパイロメトリーの限界と可能性』

和田 晋一（香川県立保健医療大学 保健医療学部 臨床検査学科）

微生物検査部門 『抗酸菌検査の現状』

藤川 栄吏（香川労災病院）

病理細胞診検査部門 『呼吸器疾患と病理検査』

平松 智佳（香川県立中央病院 中央検査部）

臨床化学検査部門 『血液ガスを用いた呼吸器疾患へのアプローチ』

井川 奥義（香川大学医学部附属病院 検査部）

学会に参加される方へ

・受付：参加者は会員証による受付登録を行います。県会員は氏名、所属を記入して下さい。

・参加費：学会参加費は2,000円（昼食費を含む）です。

・生涯教育点数：学会参加のみ 専門20点、総会出席 基礎30点、

筆頭発表者20点追加、共同発表者10点追加（自己申告による）、座長・司会10点追加



平成30年度一般社団法人香川県臨床検査技師会定時総会の出席票・委任状については、必要事項を記入し、施設責任者を通じて、医療法人財団大樹会 総合病院回生病院 山本 直子（事務局）まで送付お願い致します。

提出締切日：平成30年4月18日（水） （期限厳守でお願いします）

連絡先・提出先：〒762-0007 香川県坂出市室町3丁目5番28号 医療法人財団大樹会 総合病院回生病院

(一社)香川県臨床検査技師会 事務局 山本 直子

TEL 0877-46-1011 FAX 0877-45-6838 E-mail : kensa@kaisei.or.jp

臨床検査技師国家試験（教員の立場から）

森西 起也（香川県立保健医療大学）

平成30年2月21日（水）に第64回臨床検査技師国家試験が行われました。香川県立保健医療大学の4年生もこの試験を受け、自己採点の結果では皆無事合格点数をとれてそうです。私自身も4年前に受けた国家試験ですが、とても苦労したことを覚えています。ですが、立場は変わり、今は教える側になりました。今回、教員の立場から見た学生の国家試験に対する変化と私自身が感じたことについてお話しします。

臨床検査技師なら必ず通る試験として臨床検査技師国家試験があります。そして、私が所属している香川県立保健医療大学では、4年生になると国家試験に向けて定期的に模擬試験を学生に実施しています。この模擬試験には、国家試験の過去問を使った模試から、全国の臨床検査技師国家試験を受ける人が行う全国模試もあり、学内順位や全国順位を確認しながら、学生たちもその結果を励みにしています。また、国家試験まで残り約4か月頃になると、大学で国家試験の補講も始まります。大学の教員全員が各教科を、分野ごとに担当し指導を行っています。この辺りから多くの学生が試験勉強に専念するようになります。そして、それと同じ時期に、勉強の方法に悩む学生や、勉強しているのに点数が伸びない学生、就活等で時間がなくて焦っている学生が見られました。国家試験は範囲も広く、数日間勉強を続けるだけでは、なかなか結果には結び付ません。点数がすぐに伸びなくても、コツコツ継続して勉強することで結果に結びつきます。

模擬試験の後には、私の研究室に質問に来る学生も多くいました。問題の解説や何故間違えているのかなどを一緒に調べることで学生だけではなく、私自身も学ぶことが多かったです。時には、実際の病理標本を顕微鏡で見せながら学生に説明することもあり、できるだけ学生にとってイメージに残りやすいような指導を心掛けました。また、学生の勉強の方法ですが、グループで分かれ勉強している姿もよく目にしました。学生が所属していた卒業研究の研究室や、図書室といった、大学の一室にこもり、朝から晩までみんなで励ましながら勉強していました。そこでは、お互いに問題を出し合ったり、わからないところを教えることで、お互いが理解を深めることができたり、ただひたすら問題を解くなど様々でした。私も別の研究室に用事で訪れた時、部屋に誰もいないと思って入ると、学生数人が問題を解いている姿に驚いた経験があります。

国家試験が終わった後、学生が不安でネットの解答速報ができるまでみんなで集まり、その日の夜遅くに自己採点をみんなでしたとの話も聞きました。この時、同時に、教員の解答の作成が始まります。学生は、翌日に国家試験の自己採点があるので、それまでに学生から問題を回収し、問題を解き解答を作製します。国家試験翌日の学生の自己採点の日には、私自身結果ができるまで落ちかず、他の仕事が手につきませんでした。自己採点の結果、全員合格点をとっていると分かった時は自分の事のようにうれしかったです。

学生には臨床検査技師として、国家試験が最後の試験になるのではなく、これから専門資格の取得や勉強会、学会に積極的に参加し、更なる研鑽を積んでもらいたいです。私自身も、今年香川県立保健医療大学に赴任したばかりで、学生にとってどのようにすればよいか試行錯誤しながらでしたが、これからも学生の意見を取り入れながら、よりよい指導を行っていきたいです。

（第64回臨床検査技師国家試験の施行は平成30年2月21日（水）、合格者の発表は平成30年3月27日（火）です。）

・編集後記・

～感謝の気持ちとともに…～

平昌（ピョンチャン）オリンピック、パラリンピック閉幕。選手たちの競技にかける強い熱意、チームワークの持つ底力、勝敗を越えて育まれた固い友情など、たくさんの感動を見せてくださいました。選手へのインタビューでは喜びの気持ちとともに、支えてくれた人たちへの感謝の思いが語られていました。インフルエンザで寝込んだ時に仕事を助けてくれた職場の同僚、そして看病してくれた家族に、感謝。同じ教室で学び、ともに学生時代を過ごした同級生、友達、お世話になった先生方に、感謝。そして、震災後7年、まだまだ復興半ばの中におられる方が多いこと、あの日のことを忘れないよう心に刻みます。桜の開花もう間近です。様々な記憶とたくさんの感謝の気持ちを胸に、新年度を迎えます。 小林 万代（海部医院）



臨検タイムス原稿送付先

〒761-0104 香川県高松市高松町2365

医療法人社団 海部医院

小林 万代まで

TEL087-843-3666 FAX087-843-3667

Eメール：kobaboobu0128@hotmail.co.jp

*臨検タイムス香川は、香臨技ホームページで
見ることができます。

（ユーザー名 karingi2008 パスワード 0001）

臨検タイムス香川 通巻272号

【発行所】

一般社団法人 香川県臨床検査技師会

〒761-0704 香川県木田郡三木町下高岡2695-13

事務局携帯電話 090-5913-1385

【編集責任者】 小林 万代 山本 直子

【編集委員】 藤重 和久 十川 直美 森西 起也

【印 刷】 有限会社シーアンドシーイシハラ

平成30年3月印刷・発行